

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

| | | | | | |
|----------|--------------------|----------------------|-----------|-------------|----------|
| 基本事項 | 計画コード | 事業名 | 部名 | 教育委員会事務局 | |
| | 17055 | 地域人材キラリ育成事業 | 課名 | 生涯学習課 社会教育G | |
| | 施策の大綱 | 02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実 | 財務科目 | 会計 | 01:一般会計 |
| | 基本施策 | 05:学びによる生きがいの創出 | | 款 | 10:教育費 |
| | 施策の方向 | 01:地域へ生かせる学びの展開 | | 項 | 05:社会教育費 |
| 戦略プロジェクト | 04:「ジモトノココロ」プロジェクト | 目 | | 03:公民館費 | |
| 事業予定期間 | H 29 ~ R - 年度 | | 主な根拠法令要綱等 | | |

| | | |
|-------|--|--|
| 目的・概要 | 対象 | 市民 |
| | 目的 | 地域での学びを深めて、地域で活躍できる人材を確保していくため、市民大学(仮称)講座・行政講座・中央公民館講座をフィールドに、人材育成のための学びを一体的に推進する。 |
| 概要 | 生涯学習計画に基づき、市民大学(仮称)講座や中央公民館講座を実施する。市民大学(仮称)については、地域人材キラリ育成事業推進委員会の中で「カリキュラムの編成」、「事業方針の決定」、「事業の検証」を行っていく。 | |

| | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|-----------|-----------|--|--|---|----------|
| 事業の計画・実績 | 年度計画 | 中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等含む) 市民大学(仮称)展開事業 ・市民大学(仮称)講座の開催 ・推進委員会の開催 | 中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等含む) 市民大学(仮称)展開事業 ・市民大学(仮称)講座の開催 ・推進委員会の開催(検証等) | 中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等含む) 市民大学(仮称)展開事業 ・市民大学(仮称)講座の開催 ・推進委員会の開催(検証等) | |
| | 年度実績 | 中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 86回 ・出前講座の開催(地元の魅力・課題・歴史講座等も含め実施) 317回 かめやま人キャンパス展開事業 ・かめやま人キャンパス講座の開催 ・亀山市地域人材キラリ育成事業推進委員会の開催 | ○中央公民館活動推進事業 ・中央講座の開催 72回 ・出前講座の開催 260回 ○かめやま人キャンパス展開事業 ・かめやま人キャンパス講座の開催 開催数 15回 延べ受講者数 167人 | | |
| 事業の計画・実績 | 計画額 | 事業費 | 15,200千円 | 16,200千円 | 16,500千円 |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | 820千円 | 820千円 | 820千円 |
| | 予算額 | 事業費 | 15,000千円 | 15,206千円 | |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | 200千円 | 820千円 | |
| | 決算額 | 事業費 | 14,318千円 | 13,363千円 | |
| | | 国庫支出金 | | | |
| | | 県支出金 | | | |
| | | 地方債 | | | |
| | | その他 | 200千円 | 405千円 | |
| 人件費 | 一般財源 | 14,118千円 | 12,958千円 | 0千円 | |
| | 総人件費 | 2,355千円 | 3,920千円 | 0千円 | |
| | 一般職員 | 2,355千円 | 3,920千円 | 0千円 | |
| | 所要人員 | 0.30 | 0.50 | | |
| | 会計年度任用職員等 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |
| 総コスト(+) | | 16,673千円 | 17,283千円 | 0千円 | |
| 受益者負担率 | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | |

| | | | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|----|---------------------------------------|---|-----|-------|-------|-------|
| 指標 | 名称 | 高等教育機関と連携した講座数 | 計画値 | 1 | 1 | 2 |
| | | 市民大学(仮称)の中で、高等教育機関(大学や高校など)と連携した講座数 | 実績値 | 11 | 7 | |
| | | | 単位 | 講座 | 講座 | 講座 |
| | 名称 | 市民大学(仮称)のカリキュラムの継続実施 | 計画値 | 実施 | 実施 | 実施 |
| | | 市民大学(仮称)の体制が確立されてからカリキュラムの内容が継続的に実施されているか | 実績値 | 実施 | 実施 | |
| | | | 単位 | | | |
| 名称 | 市民大学(仮称)や中央公民館の講座を受けて結成された団体数 | 計画値 | | | 3 | |
| | 市民大学(仮称)講座や中央公民館講座を受講し、講座を契機に結成された団体数 | 実績値 | | 2 | | |
| | | 単位 | | 団体 | 団体 | |

| | | |
|-------|------|---|
| 事業の改善 | 前回評価 | 【前回評価の対応方針の概要を記入】 かめやま人キャンパス講座受講者の修了後の実践活動を見据えたカリキュラム編成が課題である。そのためには、行政関連部署や市内で活動している団体との連携強化が必要である。 |
| | 改善行動 | 【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 2年目のかめやま人キャンパス講座の実施にあたり、受講者の実践活動や講座の垣根を超えた仲間づくりを推進するため、2コース合同講座や行政講座との連携講座、実際に市内で活動されている方の元に赴くフィールドワーク等を実施した。 |

| | | 評価 | (判定) |
|-------|----|---|-----------------|
| 事業の評価 | 活動 | 【計画どおりに実施できたか】 中央公民館及びかめやま人キャンパスの講座は、新型コロナウイルス感染症対策として、当初計画の6月開講から9月以降の開講とし、可能な限り学びの機会を提供するため、日程調整できるものについては延期をして講座を実施した。 かめやま人キャンパスでは、新たな取組として、全受講者を対象としたZoomの体験講座を実施するとともに、起業家講座は基本的にオンラインと会場参加のハイブリッド型での講座を実施した。 | A 計画どおり実施できた |
| | 成果 | 【成果は順調に上がったか】 中央公民館講座については、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して講座を運営することで、可能な限り学びの機会を提供し、様々なジャンルの講座を実施することができた。 かめやま人キャンパスについては、オンラインを活用した講座や、講座受講者を講師にした合同講座など、受講者の実践活動につながる講座を実施することができた。 また、かめやま人キャンパス受講生により、市民活動を行う団体が2団体結成された。 | A 十分な成果を得た |

| | | | |
|---------|----|--|---|
| 今後の対応方針 | 課題 | 【課題は何か】 受講者の修了後の実践活動を見据え、行政関連部署や市内外の団体と連携する必要がある。また、コロナ禍の中であっても学びを提供するため、ICTを活用した講座の実施を検討する必要がある。 | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 |
| | 対応 | 【課題に対し、どのように対応するか】 3年目のかめやま人キャンパス講座の実施にあたり、受講後の受講者の活躍を見据えた講座を実施するとともに、行政関連部署や市内外の団体と連携しやすい土壌を形成するため、かめやま人キャンパス自体や受講者の活動を周知していく。 また、コロナ禍であっても学びの場を提供するため、ICTを活用した講座の実施を検討し、可能な限りオンラインと会場参加を併用したハイブリッド型の講座を実施する。 | |
| | 効果 | 【対応することで、どのような効果が期待できるか】 かめやま人キャンパスの周知を行うことで、受講者が今後市内外で活躍する場を創出することにつながる。 また、オンラインを併用した講座の研究を進めることで、どんな状況であっても市民に学びを提供することができることも、市民が受講しやすい環境を整備することが期待できる。 | |
| 対応時期 | | 令和3年度 | |

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 【1次評価者】 | 教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育グループリーダー 高重 京子 |
| 【最終評価者】 | 教育委員会事務局 生涯学習課長 桜井 伸仁 |

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

| | | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|----|----|-----|-----|----|----|----|
| 判定 | 活動 | B | A | A | A | |
| | 成果 | B | B | A | A | |

令和2年度予算額(事業費)の内訳

| 予算額(事業費) | | 15,206 千円 |
|----------|-------------|-----------|
| 内訳 | 令和元年度からの繰越額 | 千円 |
| | 令和2年度の最終予算額 | 15,206 千円 |
| | 令和3年度への繰越額 | 千円 |